

(第 23 回)

トラック運送業界の景況感

(令和 4 年 7 月～9 月期)

令和 4 年度第 2 四半期の景況感調査では、資源や原材料価格の高止まりに加え、急速に進む円安による輸入品の価格上昇等、物流コストの増加により、荷動きが活発になったにもかかわらず、業況が伸びないと感じる事業者が多くあった。

まず、実働率・実車率を見てみると、「やや上昇」との回答が増えており、新型コロナウイルスの行動制限の緩和等により、荷動きの上昇傾向が見られた。また、輸送数量全体を見ても、「大幅に減少」・「やや減少」という回答は微減しており、「やや増加」との回答は増えている等、一時期に比べると荷動きは活発になってきていると言える。

ドライバーの過不足について見てみると、「適当」との回答が減少しており、「不足」・「やや不足」との声が増加している。これらは上記のような荷動きの活発化によって人手が不足しているからだと思われる。また、ドライバーや従業員の採用状況については「新規採用活動を行なっているが、求人に対する反応がない。」等、採用がうまくいっていないとの声や、「1 週間前後で辞めていく人がほとんどで、社会保険の加入で無駄な出費がかさむ。」や、「インターネット等で採用している人材は短期間で退職している。簡単に職探しができる反面、転職も簡単に考えている人が多い。」等の意見があり、定着率が伸びないとの声が多く聞かれた。

一方、営業収入を見ると、荷動きの活発化からか、「やや減少」との回答が減り、「やや増加」との回答が大きく増えている。「コロナの影響は薄まったが、ウクライナでの戦争の長期化、燃料・原材料の高騰、円安の影響により景況の回復感がない。」との声も聞こえるが、営業利益を見ても「増加」が増え、「減少」が減っている。ただし、気になるのは経常損益を見ると、「やや悪化」との回答は微減しているものの、「やや好転」との回答は増えておらず、「変化なし」との回答が大きく増えていることで、何らかの理由で営業外費用が増えている可能性もあり、今後注視したい。

最後に、運賃・料金の水準について見てみると、「やや減少」との回答が大幅に減っており、「やや上昇」との回答が微増しているが、「横ばい」との回答が 7 割以上を占めており、これからもトラック運送業界全体での粘り強い運賃交渉が必要となっている。

令和 4 年 11 月 1 日

一般社団法人大阪府トラック協会

トラック運送事業者における景況感調査（大ト協 第23回）

令和4年7月～9月期調査票

1. ドライバー数（人）

1～10人	15 社	22.7%	51～100人	3 社	4.5%
11～20人	23 社	34.8%	101～300人	2 社	3.0%
21～30人	12 社	18.2%	301人～	1 社	1.5%
31～50人	10 社	15.2%	未回答	0 社	0.0%

2. 女性ドライバー数

66 社中 12 社 平均人数 4.2 人

3. 1社あたりの保有台数

1～10両	9 社	13.6%	51～100両	4 社	6.1%
11～20両	23 社	34.8%	101～300両	2 社	3.0%
21～30両	17 社	25.8%	301両～	1 社	1.5%
31～50両	10 社	15.2%	未回答	0 社	0.0%

4. 取扱品目

	1位	2位	3位
1. 農水産品	0 社	0 社	0 社
2. 林産品（原木、製材、薪炭等）	2 社	1 社	0 社
3. 鉱産品①（砂利、砂、石材）	1 社	0 社	3 社
4. 鉱産品②（3. 以外の 鉱産品、石炭、原油等）	0 社	1 社	0 社
5. 金属（鉄鋼、電線・ケーブル等）	7 社	4 社	2 社
6. 金属製品①（建設・建築用金属製品）	5 社	2 社	3 社
7. 金属製品②（6. 以外の金属製品、刃物、工具等）	1 社	1 社	0 社
8. 電気機械	3 社	4 社	3 社
9. 輸送機械（自動車、自動車部品等）	4 社	3 社	0 社
10. その他機械（産業機械等）	4 社	5 社	0 社
11. 窯業品（セメント、ガラス等）	0 社	2 社	1 社
12. 石油製品（揮発油、重油等）	2 社	0 社	0 社
13. 石炭製品（コークス等）	0 社	0 社	1 社
14. 化学薬品（硫酸、ソーダ等）	2 社	3 社	0 社
15. 化学肥料	2 社	0 社	1 社
16. その他化学工業品（顔料、合成樹脂等）	5 社	4 社	2 社
17. 紙・パルプ	4 社	2 社	0 社
18. 繊維工業品	1 社	0 社	0 社
19. 食料工業品	7 社	1 社	6 社
20. 日用品	6 社	6 社	4 社
21. その他製造工業品（ゴム皮革製品、木製品等）	0 社	0 社	2 社
22. 特殊品（廃棄物、引越荷物等）	1 社	3 社	0 社
23. その他	5 社	5 社	3 社
24. 未回答	4 社	19 社	35 社

トラック運送事業者における景況感調査結果(令和4年7月～9月期)

※215社中66社回答

件数 % 件数 % 件数 % 件数 % 件数 % 件数 %

実働率	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答
前年同期比	1 1.5%	12 18.2%	34 51.5%	18 27.3%	1 1.5%	0 0.0%
前期比	1 1.5%	15 22.7%	30 45.5%	20 30.3%	0 0.0%	0 0.0%
先行き	0 0.0%	11 16.7%	35 53.0%	19 28.8%	1 1.5%	0 0.0%

実車率	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答
前年同期比	1 1.5%	14 21.2%	32 48.5%	18 27.3%	1 1.5%	0 0.0%
前期比	0 0.0%	16 24.2%	33 50.0%	17 25.8%	0 0.0%	0 0.0%
先行き	0 0.0%	15 22.7%	32 48.5%	19 28.8%	0 0.0%	0 0.0%

ドライバーの過不足	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答
今期の状況	13 19.7%	28 42.4%	22 33.3%	3 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
先行き	16 24.2%	28 42.4%	20 30.3%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%

ドライバーの採用状況	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	9 13.6%	46 69.7%	4 6.1%	6 9.1%	1 1.5%
前期比	0 0.0%	8 12.1%	46 69.7%	5 7.6%	6 9.1%	1 1.5%
先行き	1 1.5%	9 13.6%	42 63.6%	6 9.1%	6 9.1%	2 3.0%

ドライバー以外の過不足	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答
今期の状況	7 10.6%	15 22.7%	42 63.6%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%
先行き	9 13.6%	16 24.2%	39 59.1%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%

ドライバー以外の採用状況	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	7 10.6%	52 78.8%	3 4.5%	2 3.0%	2 3.0%
前期比	0 0.0%	6 9.1%	53 80.3%	3 4.5%	2 3.0%	2 3.0%
先行き	0 0.0%	7 10.6%	50 75.8%	4 6.1%	3 4.5%	2 3.0%

所定外労働時間 (休日労働を含む)	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	5 7.6%	38 57.6%	22 33.3%	1 1.5%	0 0.0%
前期比	0 0.0%	8 12.1%	38 57.6%	19 28.8%	1 1.5%	0 0.0%
先行き	0 0.0%	5 7.6%	42 63.6%	19 28.8%	0 0.0%	0 0.0%

貨物の再委託の割合	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	3 4.5%	10 15.2%	31 47.0%	18 27.3%	1 1.5%	3 4.5%
前期比	3 4.5%	14 21.2%	29 43.9%	17 25.8%	0 0.0%	3 4.5%
先行き	2 3.0%	16 24.2%	29 43.9%	15 22.7%	1 1.5%	3 4.5%

経常損益	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答
前年同期比	1 1.5%	9 13.6%	24 36.4%	26 39.4%	5 7.6%	1 1.5%
前期比	1 1.5%	10 15.2%	29 43.9%	22 33.3%	3 4.5%	1 1.5%
先行き	0 0.0%	8 12.1%	24 36.4%	30 45.5%	3 4.5%	1 1.5%

業界の景況感	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	9 13.6%	17 25.8%	38 57.6%	2 3.0%	0 0.0%
前期比	0 0.0%	11 16.7%	19 28.8%	34 51.5%	2 3.0%	0 0.0%
先行き	0 0.0%	10 15.2%	18 27.3%	36 54.5%	2 3.0%	0 0.0%

今期の水準	1.良い	2.ふつう	3.悪い	4.未回答
	4 6.1%	37 56.1%	25 37.9%	0 0.0%

輸送数量全体	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 1.5%	9 13.6%	24 36.4%	26 39.4%	1 1.5%	5 7.6%
前期比	0 0.0%	14 21.2%	23 34.8%	24 36.4%	0 0.0%	5 7.6%
先行き	0 0.0%	14 21.2%	22 33.3%	25 37.9%	0 0.0%	5 7.6%

取扱い1位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 1.5%	9 13.6%	26 39.4%	25 37.9%	1 1.5%	4 6.1%
前期比	0 0.0%	14 21.2%	22 33.3%	24 36.4%	2 3.0%	4 6.1%
先行き	0 0.0%	10 15.2%	28 42.4%	23 34.8%	1 1.5%	4 6.1%

取扱い2位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	11 16.7%	21 31.8%	14 21.2%	1 1.5%	19 28.8%
前期比	0 0.0%	9 13.6%	23 34.8%	13 19.7%	1 1.5%	20 30.3%
先行き	0 0.0%	7 10.6%	22 33.3%	15 22.7%	2 3.0%	20 30.3%

取扱い3位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	2 3.0%	3 4.5%	15 22.7%	11 16.7%	0 0.0%	35 53.0%
前期比	1 1.5%	2 3.0%	18 27.3%	10 15.2%	1 1.5%	34 51.5%
先行き	1 1.5%	2 3.0%	16 24.2%	11 16.7%	2 3.0%	34 51.5%

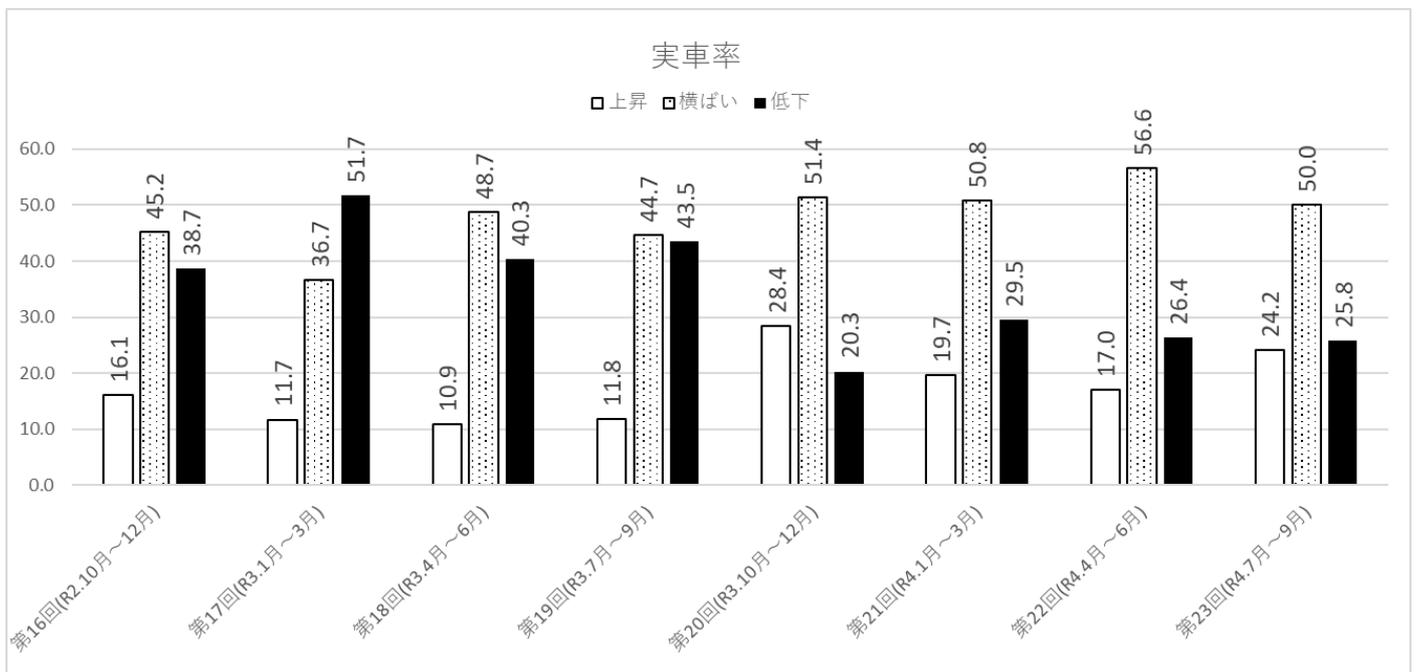
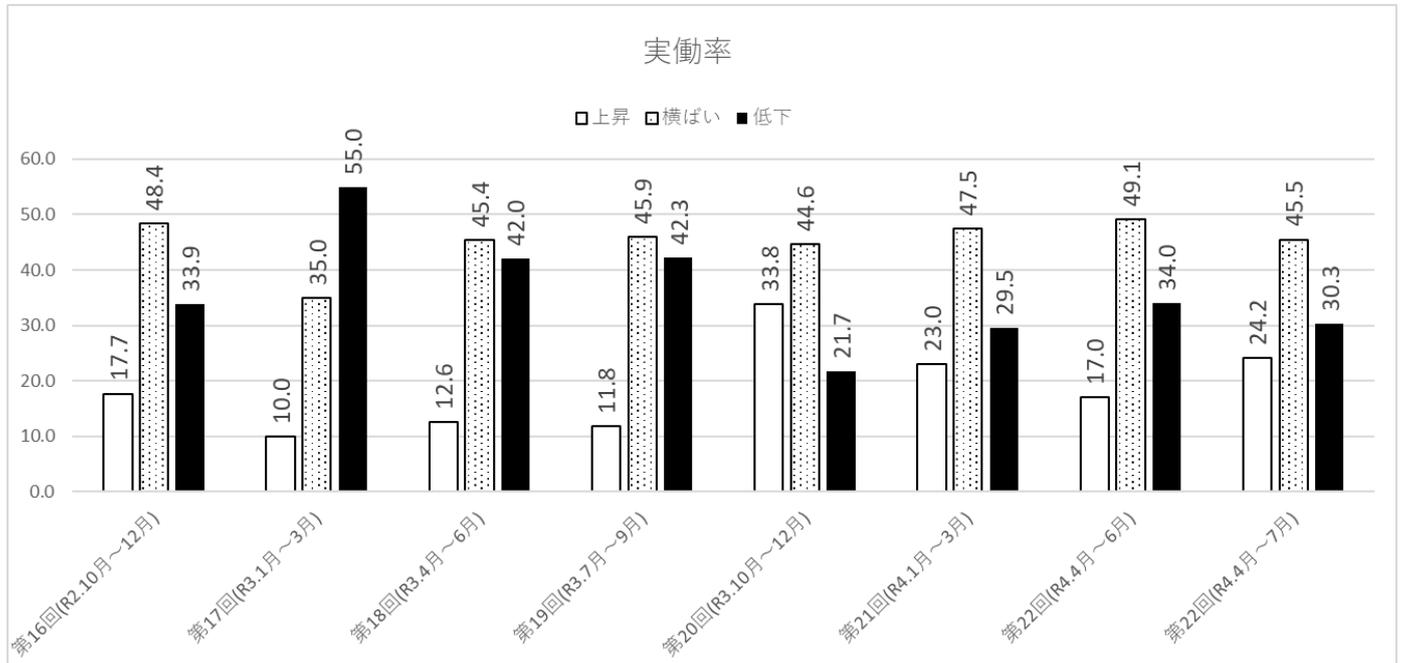
営業収入(売上高)	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	2 3.0%	13 19.7%	24 36.4%	19 28.8%	3 4.5%	5 7.6%
前期比	1 1.5%	16 24.2%	25 37.9%	16 24.2%	3 4.5%	5 7.6%
先行き	1 1.5%	13 19.7%	26 39.4%	20 30.3%	1 1.5%	5 7.6%

営業利益	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	2 3.0%	9 13.6%	23 34.8%	21 31.8%	6 9.1%	5 7.6%
前期比	2 3.0%	13 19.7%	24 36.4%	18 27.3%	4 6.1%	5 7.6%
先行き	2 3.0%	9 13.6%	25 37.9%	22 33.3%	3 4.5%	5 7.6%

運賃・料金の水準	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	9 13.6%	50 75.8%	1 1.5%	1 1.5%	5 7.6%
前期比	0 0.0%	8 12.1%	51 77.3%	1 1.5%	1 1.5%	5 7.6%
先行き	0 0.0%	11 16.7%	45 68.2%	5 7.6%	0 0.0%	5 7.6%

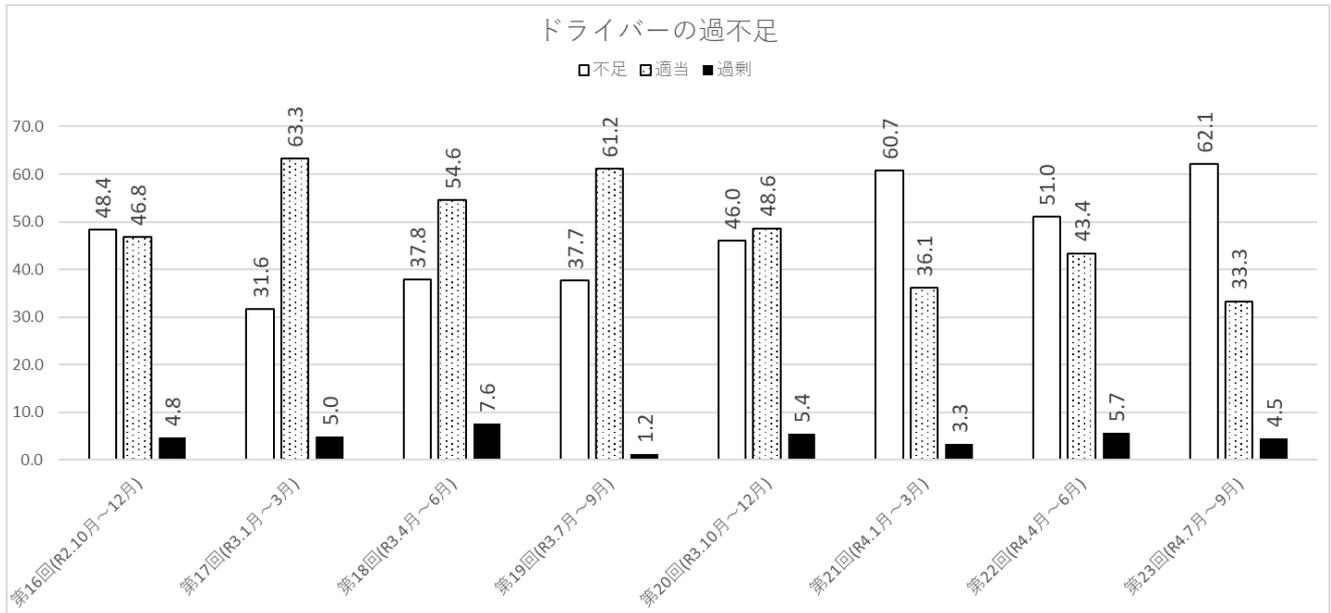
○実働率・実車率

実働率・実車率の前期比について、どちらも「上昇」が7.2 ㊦増加し、実車率の「低下」が3.7 ㊦減少し、実働率の「低下」は0.6 ㊦微減している。新型コロナウイルス感染拡大による行動制限が緩和された影響だと考えられる。



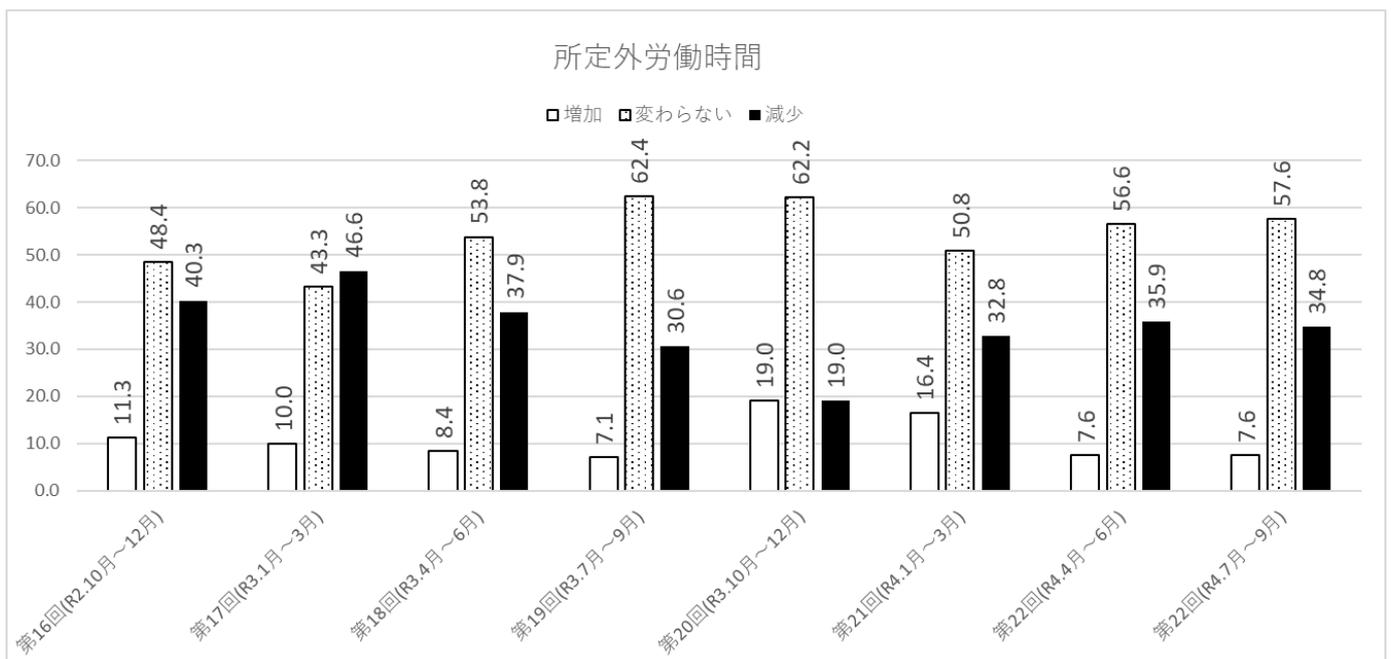
○ドライバーの過不足

ドライバーの過不足について「不足」との声が 11.1 ㊦増加し、「適当」との声が 10.1 ㊦減少している。荷動きの活性化によるドライバー不足の影響だと考えられる。



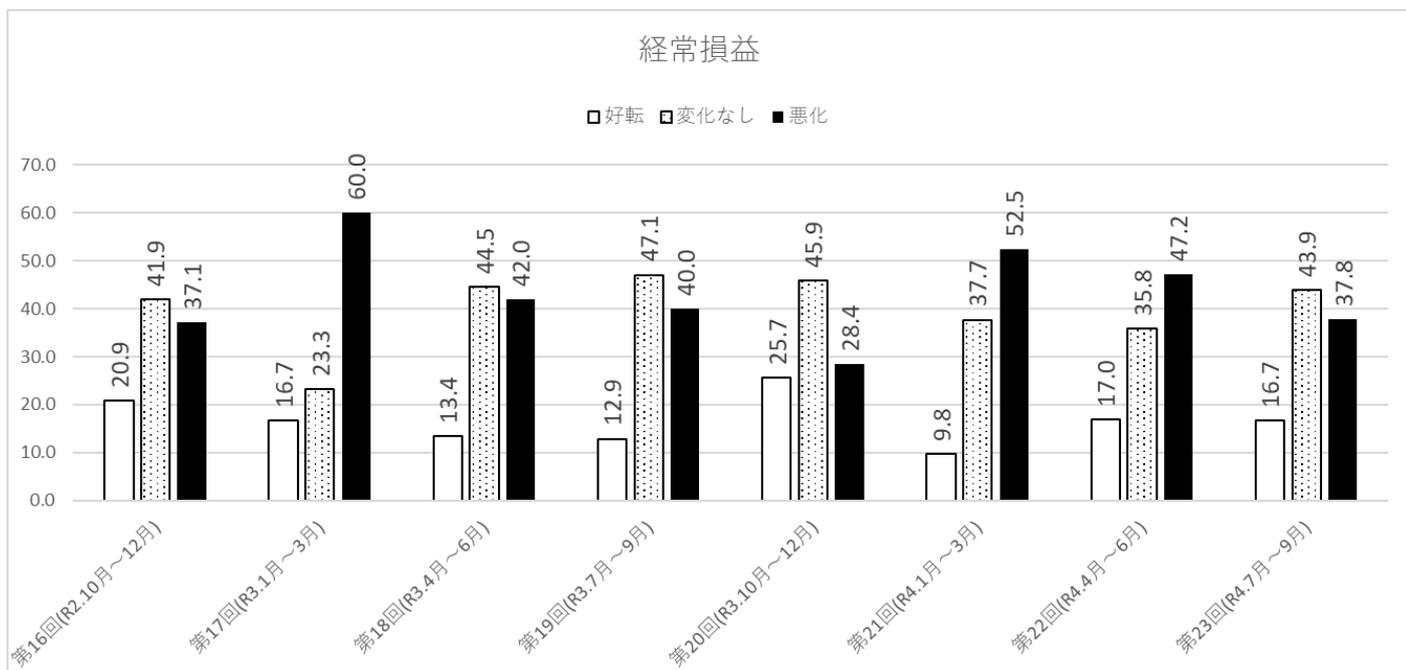
○所定外労働時間

所定外労働時間について「減少」との声が 1.1 ㊦微減し、「変わらない」が 1.1 ㊦微増と前回の調査とほとんど変化がなかった。ドライバー一人あたりの仕事量が多い状態が続いていることがわかる。



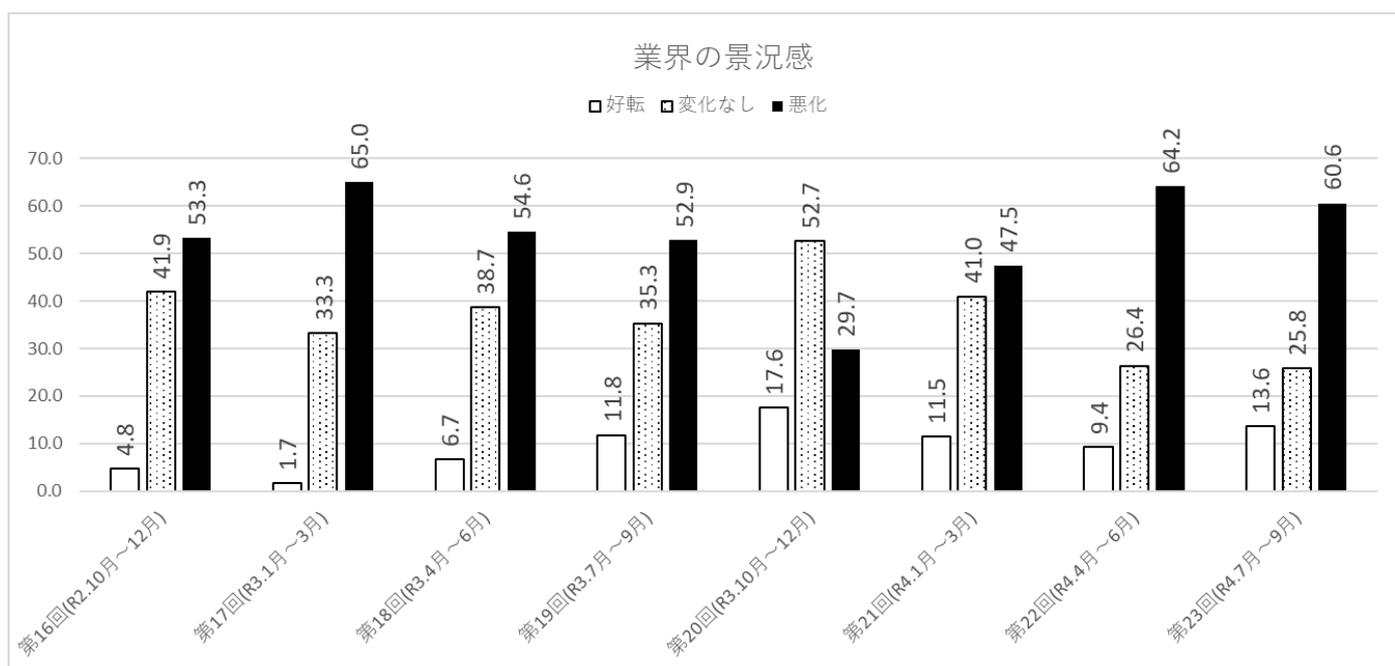
○経常損益

経常損益について「悪化」が9.7 ㊦減少しているが、「好転」も0.3 ㊦微減し、「変化なし」が8.1 ㊦増加している。営業外費用が増え、厳しい経営状況にある事業者も多くみられ、運んでいるもの等により、格差が生じている。



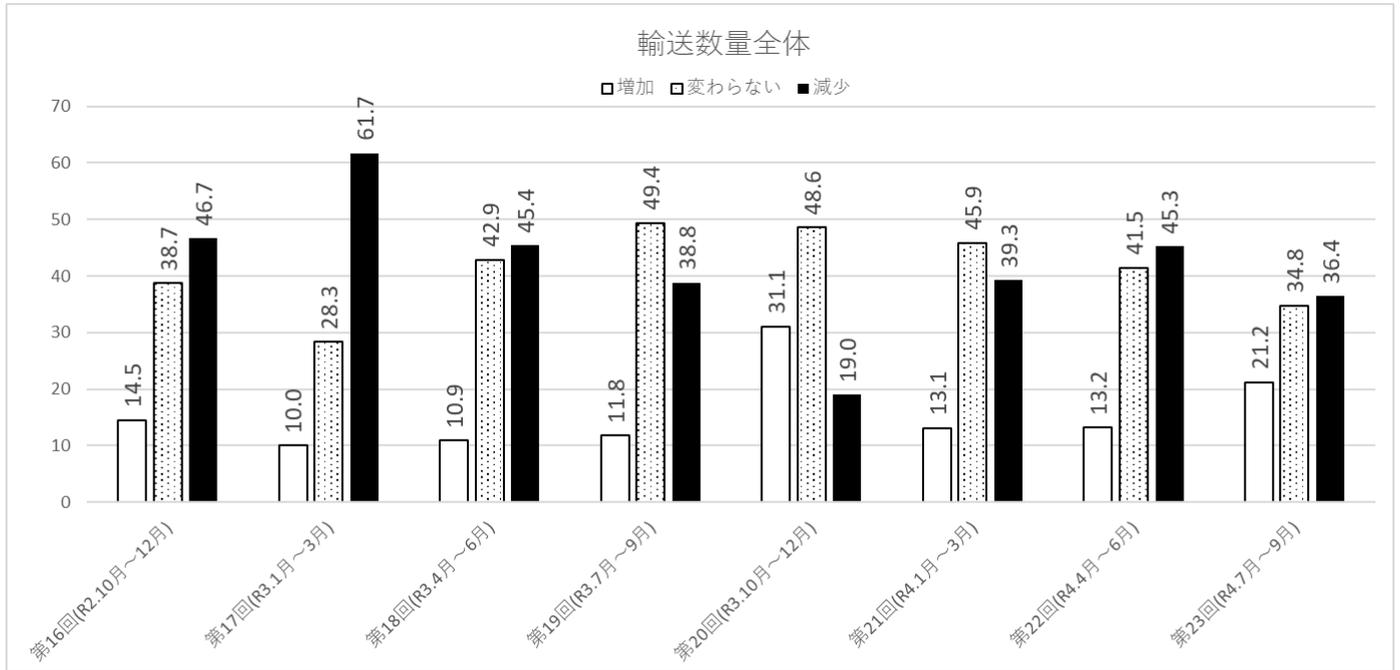
○業界の景況感

業界の景況感について「好転」が4.2 ㊦増加し、「悪化」が3.6 ㊦減少している。以前の調査より「好転」と答えた事業者は増えているものの、60.6%の事業者が「悪化」と答える等、先行きは不透明であった。



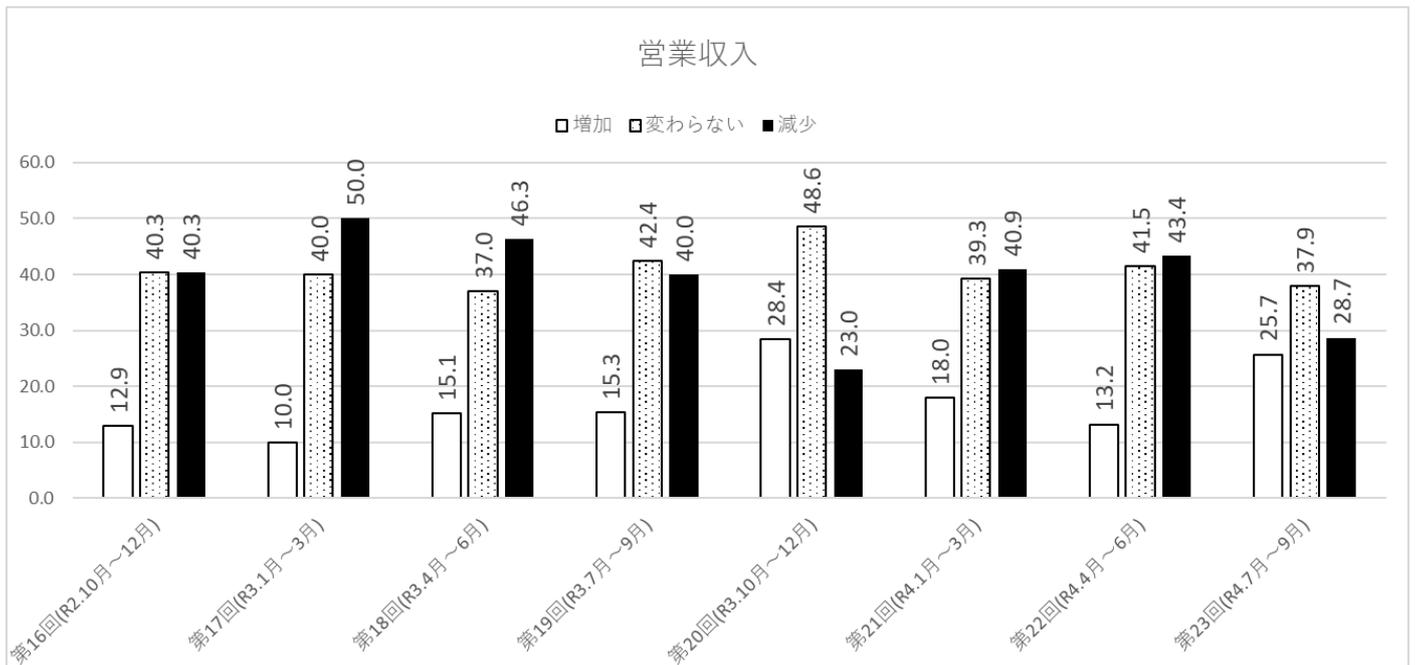
○輸送数量

輸送数量について「増加」との回答が 8.0 ㊦増加し、「減少」との回答は 8.9 ㊦減少している。新型コロナウイルス感染拡大による行動制限の緩和による荷動きの活性化の影響だと考えられる。



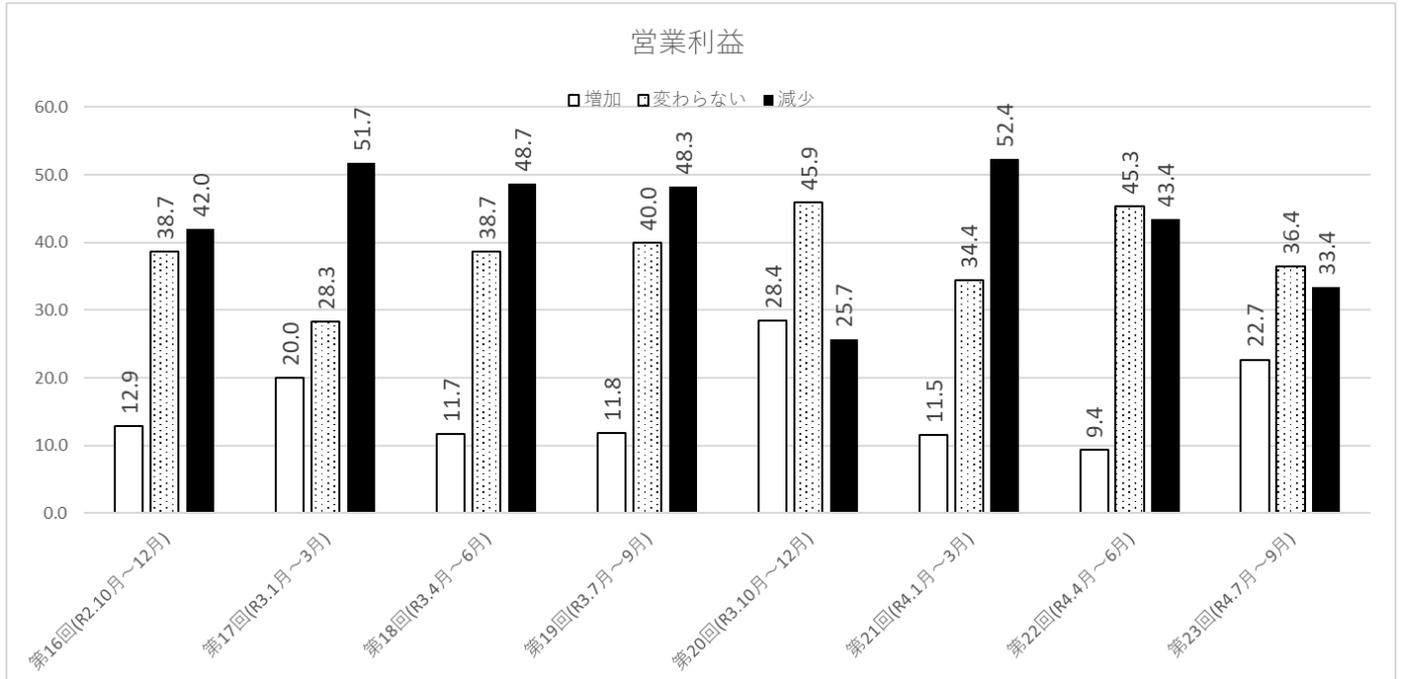
○営業収入

営業収入について「増加」が 12.5 ㊦増え、「減少」が 14.7 ㊦と大きく減少した。荷動きの活性化により、売上高が上昇したためだと考えられる。



○営業利益

営業利益について「増加」が13.3 ㊦増え、「減少」が10.0 ㊦減っている。営業収入の増加により、営業利益が増えていることが伺える。



○運賃・料金の水準

運賃・料金の水準について「上昇」が2.7 ㊦微増し、「低下」が10.2 ㊦減少しているものの、「横ばい」との回答が7割以上を占めている。トラック運送業界全体での粘り強い運賃交渉が求められる。

